

令和元年度第1回総合教育会議 会議録

1. 日時	令和元年 11 月 15 日（金） （午後 1 時 30 分から）
1. 場所	市来庁舎 2 階庁議室
1. 出席者	田畑誠一市長 富永伸博委員・徳重涼子委員・福山 希委員 有村孝教育長 瀬川総務課長・北山政策課長・書記 川越総務課長補佐
1. 協議事項	冠岳小学校の今後のあり方について
事務局	只今から令和元年度第1回総合教育会議を開催します。 市長あいさつをお願いします。
田畑市長	皆さん、こんにちは。 本年5月に元号が改元され、「平成」から「令和」となりました。 「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」との意味が込められているそうです。 令和の時代は、これからの時代を担う子どもたちが、それぞれの夢や希望に向かって頑張っていける社会、思う存分活躍できる時代であってほしいと願っています。 また、早いもので令和元年も10月が過ぎ、この間、佐賀県、福岡県、長崎県に大雨特別警報が発令され、浸水被害をもたらした8月の九州北部豪雨をはじめ、千葉県等関東地方で床上・床下浸水等の大きな住宅被害や、停電・断水も2週間続くなど大変な災害をもたらしました。 台風19号では、亡くなった方、行方不明の方が95名、21号の集中豪雨でも10数名が亡くなっていますから、今度の台風、豪雨で100名を超える方々が犠牲になりました。 昨年度に引き続き、全国各地で地震や豪雨、台風などによる大きな災害が発生しております。 本市でも6月30日から7月1日にかけて集中豪雨があり、大里川が決壊しました。この件については、早速、国、県に要望していましたが、報告しますと、川北交流センター付近が32m崩れ、これは入札が終わりました。 あと、新迫田橋付近が50m決壊、消防市来分遣所付近が17m決壊し、近く入札が行われ、大里川の護岸は、年度内に完成する予定です。その他、国に対し、川幅の改修について要望を行ったところです。

また、明後日、17日の日曜日に、地震・津波を想定した市総合防災訓練を照島地区で実施することといたしております。

関係機関の緊密な連携、地域での避難行動の確認とともに、自分の命は自分で守る意識の醸成など、防災意識の高揚を図り、いつ起ってもおかしくない災害への対応の充実に努めていきたいと考えております。

以前は、時間雨量 50 mm を想定し、防災対策を行っていましたが、最近では 50 mm は当たり前で、100 mm を超える雨量です。数日で平年の 1 か月分の雨が降る状況です。あの八ツ場ダムも満水になるのに 3 か月ほどかかると言われるほどの貯水能力があると言われていましたが、一晩で満水になりました。

ですから、これからはダム機能や取扱いについても防災対策の中で考えていかないといけないと思います。

また、今年の夏も猛暑が続き、各地で熱中症が発生しております。

本市では、昨年从今年にかけて、市内の全小中学校、幼稚園の普通教室、職員室等にエアコンを整備いたしました。児童生徒が快適な環境のもと、安心・安全で、健康的な学校生活を過ごせるようになり、学習意欲の向上が期待したいと思います。

引き続き教育環境の整備に向け、教育長並びに教育委員の皆様と一緒に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、総合教育会議につきましては、皆様もご承知のとおり、地方教育行政法に基づくもので、本年度は本日が第 1 回目の開催となります。

協議事項は、「冠岳小学校の今後のあり方について」の 1 件であります。

冠岳小学校は、明治 12 年の創設で、創立 140 年に及ぶ伝統校であります。

昭和 30 年頃には児童数が 200 人を超えるという時代もありましたが、近年の大幅な児童数の減少を受け、非常に残念ではありますが、統廃合計画を策定するに至ったところであります。

本日は、この冠岳小学校の統廃合・閉校という重大事項につきまして、教育委員会の皆様と共通理解を図るため、お集まりいただいたところであります。

御協議方をよろしくお願いいたします。

事務局

協議に入ります。協議の進行を市長にお願いいたします。

田畑市長

それでは、引き続き、会次第にしたがって会議を進めて参ります。

「3. 協議」であります。「冠岳小学校の今後のあり方について」を議題といたします。事務局の説明をいたさせます。

瀬川課長

それでは、冠岳小学校の今後のあり方について、説明申し上げます。
冠岳小学校の今後のあり方につきましては、これまで、9月30日に冠岳地区の皆さん、10月12日に学校の保護者の皆さんと意見交換を行ってまいりました。

主な意見としては、「冠岳小学校は継続してほしい、という気持ちはあるが、児童数の減少、また地元出身の児童の状況を考えると、統廃合もやむを得ない」という意見が大方を占めていたところです。

11月5日には地区や保護者の意見等を踏まえながら、取りまとめた冠岳小学校統廃合計画を地区に提示したところです。お手元に統廃合計画をお配りしてありますので、ご覧いただきたいと思います。

統廃合計画の内容について説明いたします。

まず、1の冠岳小学校の現状についてです。

冠岳小学校の現状については、これまでも説明していますので簡単に申し上げますが、生徒数は、2年生・3年生が1人ずつ、4年生・5年生・6年生が2人ずつの計8人となっています。うち特認校生が3人です。ちなみにクラス数は、1～2年生が1人で1クラス、3～4年生が3人で1クラス、5～6年生が4人で1クラス、計、複式3クラスとなっています。

また、未就学児については、現状では、令和2年度から7年度までの6年間においては、新入学児童は見込まれておりません。

また、冠岳小学校は、今後、児童数10人未満の状況が2年以上続くことや、児童数0人の学年が2学年になることが予想されます。

これは、参考として掲げてあります「いちき串木野市立小・中学校の統廃合基準」の(1)の一番上の○になりますが、小学校の統廃合基準に該当します。

このことから、冠岳小学校統廃合計画を策定したところであります。次に、2の統廃合の内容についてです。

「冠岳小学校は閉校とし、生福小学校へ統合する。」としています。

この理由としましては、冠岳小学校が統廃合基準に該当すること、あわせて、地元出身の児童は5年生のみで、その児童の卒業後は地元出身の児童がいなくなることがあげられます。

さらに、現時点では少なくとも今後6年間は新入学児童が見込まれないこと等から、閉校するとしたところであります。

また、冠岳小学校の児童は、中学生になると生冠中学校に通うこととなります。このことを勘案し、冠岳小学校は生福小学校に統合するとし、冠岳地区は生福小学校の通学区域に編入することとしたところであります。

現在5年生の地元児童が卒業すると地区出身児童はいなくなりますが、今後、新たに転入等があった場合には、生福小学校へ通うこととなります。

次に、3の統廃合の時期についてです。

「統廃合の時期は、令和3年3月31日とする。」としています。

この理由といたしまして、地元出身児童の現5年生の2人が卒業する令和2年度末、来年度末を統廃合の時期といたしました。

地域からは、できるだけ早いほうがいいとか、少しでも時間がほしいなどの意見もありましたが、保護者や地域の意見等を総合的に勘案するとともに、今後のスケジュール等を考慮いたしますと、地元出身児童2人が卒業する時期が適切ではないかという意見になったところでもあります。

次に、4の統廃合までのスケジュールについてです。

先程も申し上げましたが、去る9月30日に第1回目の地域・保護者説明会、10月12日には保護者の意見の聞き取り、11月5日に第2回の地域・保護者説明会を開催し、統廃合計画を提示したところであります。

令和2年に入ると、閉校準備委員会の立ち上げなど、地域のご理解・ご協力をいただきながら、閉校事業の準備を行うこととなります。

また、7月には教育委員会で閉校議案の審議を行っていただき、9月の市議会定例会では、学校設置条例の一部改正議案を提案する方向で検討しているところです。

設置条例の一部改正が議決されましたら、10月頃になろうかと思いますが、県の教育委員会へ学校廃止届を提出することとなります。

令和3年3月には、閉校式を行うこととしております。

以上のとおり地域の皆様に統廃合計画をお示しし、計画を進めていくことで了承を得たところでもあります。

また、閉校準備委員会の立ち上げなどを含め、懸案事項等については、随時、説明会等を開催し、引き続き協議を行っていくこととしております。

以上で、説明を終わります。

田畑市長

只今の説明に、ご意見等はありませんか。

富永委員

来年度の特認校生の募集は、続けるのですね。

瀬川課長

はい。冠岳小学校の来年度の特認校生の募集は続けます。

それから、特認校生5年生の保護者に聞き取りを行いました。卒業するまでは冠岳小学校に出したいとのことでしたので、募集を続けることとしています。

田畑市長

先ほど説明がありましたとおり、冠岳地区や保護者の皆さんの意見などを、順を追って段階的に話を進め、この結果であります。

	<p>総じて、残して欲しいという気持ちもあるけれども、ここに至っては、やむを得ないというのが地区、保護者の考えのようです。</p>
福田委員	<p>保護者も全員、納得されたと。特に地区の方から絶対駄目だというような意見はなかったですか。</p>
瀬川課長	<p>この計画を提示した時に、地区の方から反対意見はありませんでした。ただ、今後、地域に新たに子どもが来た場合などについて、意見を交わしたところです。</p>
有村教育長	<p>PTA の戸数は何戸でしたかね。</p>
瀬川課長	<p>6 戸あり、地元が 2 戸、特認校生が 2 戸、あとは校長と教頭です。</p>
富永委員	<p>校長、教頭の児童は何年生ですか。</p>
瀬川課長	<p>校長が 2 年生と 6 年生、教頭が 4 年生です。</p>
富永委員	<p>5 年生が地元の 2 名ですね。 今後は、小学校が果たしてきた役割を考えますと、無くなることでどう活用していくかが課題かと思います。</p>
瀬川課長	<p>跡地利用については、現在のところは計画はありませんが、今後、市の政策課などと協議を進めながら、地域にとってどのような活用策がいいのか考慮しながら、また、いま冠岳では文化村構想を進めていますので、それらも踏まえながら検討したいと思います。</p>
田畑市長	<p>地域の活性化につながるような活用策を考えていかなければなりません。学校が無くなった分を補うような努力をしないといけないと思います。ほかにありませんか。</p>
委 員	<p>ありません。</p>
田畑市長	<p>なければ、冠岳小学校につきましては、統廃合計画のとおり、冠岳小学校は閉校とし、生福小学校小学校へ統合する。統合の時期は、令和 3 年 3 月 31 日とする。ということを確認しておきたいと思います。 よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>

田畑市長	<p>それでは、そのようにご確認いただき、進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>協議については以上で終わります。</p> <p>次に、その他についてですが、何かありますか。</p>
瀬川課長	<p>来年度の特認校生の応募状況について、お知らせいたします。</p> <p>ご承知のとおり、特認校生の通学については、自力通学を原則としながら、市が準備するスクールバス・タクシーを利用する場合は、負担の公平性の観点から、来年度から特認校生の保護者が、通学費の一部を負担していただくこととしました。負担額は、一般世帯で1人目を2,000円、2人目以降をその半額の1,000円としています。</p> <p>来年度の特認校生の募集は、10月21日発行の広報紙で、負担金を含め周知を図ったところです。11月29日を募集期限としていますが、昨日、応募状況を確認したところ、旭小が2名、荒川小が15名、冠岳小は今のところ申込みはなく0名、川上小が1名、計18名が申し込んでいます。確定しましたら、また報告いたします。</p>
田畑市長	<p>保護者の負担をできるだけ少なくすることを重点に考えながら、一方では公平性も考えなければいけないという両面から考え、負担額を決めました。</p> <p>基準は、いきいきバスが大人200円、子ども100円ですが、学校に行くのが月20日程度ですから、往復4,000円としてその半分を負担額としました。</p> <p>準要保護家庭については、1人1,000円、要保護家庭については500円と決めさせていただきました。</p> <p>他市の例では、1人4,000円で、3人いても同じで、12,000円になるようで、準要保護も同じだそうです。本市では、2人目以下は半額ですので3人の場合は一般の家庭は4,000円になり、準要保護はその半額になります。</p> <p>負担金の説明会では、当然、もう少し安くしてほしいとの声もありましたが、他市の例を説明すると納得されました。また、妥当な金額だという方もおられました。</p> <p>そのようなことをご理解いただきたいと思います。</p> <p>その他について何かありませんか。</p>
委 員	<p>ありません。</p>
田畑市長	<p>なければ、以上で平成30年度第1回教育総合会議を終わります。</p> <p style="text-align: right;">(午後2時05分)</p>